

# 「経常利益」 3期連続悪化

## 原材料費・仕入価格などコスト上昇の影響大

〈調査機関〉 北九州商工会議所

〈調査期間〉 令和4年8月29日～9月22日

〔参考〕調査開始日(8/29)の株価及び外国為替市況

日経平均株価終値 27,878円96銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値 138円79銭

〈回答数〉 512社(製造業116社・非製造業396社)

〈調査方法〉 郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式



本件に関するお問い合わせは、

**北九州商工会議所 産業振興課 (TEL:541-0185)**

### < 概況 >

#### ◆【主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)】

「経常利益」は3期連続悪化

次期は主要3項目すべて今期と同水準を予測

#### ◆【業種別】

運輸業は主要3項目すべて改善

サービス業は主要3項目すべて悪化

次期は小売業が主要3項目すべて改善を予測

卸売業は主要3項目すべて悪化を予測

#### ◆【規模別】

大規模企業は主要3項目すべて悪化

中規模企業は主要3項目すべて改善

次期は中規模企業が主要3項目すべて悪化を予測

※DI(景気動向指数:Diffusion Index)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。

(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。

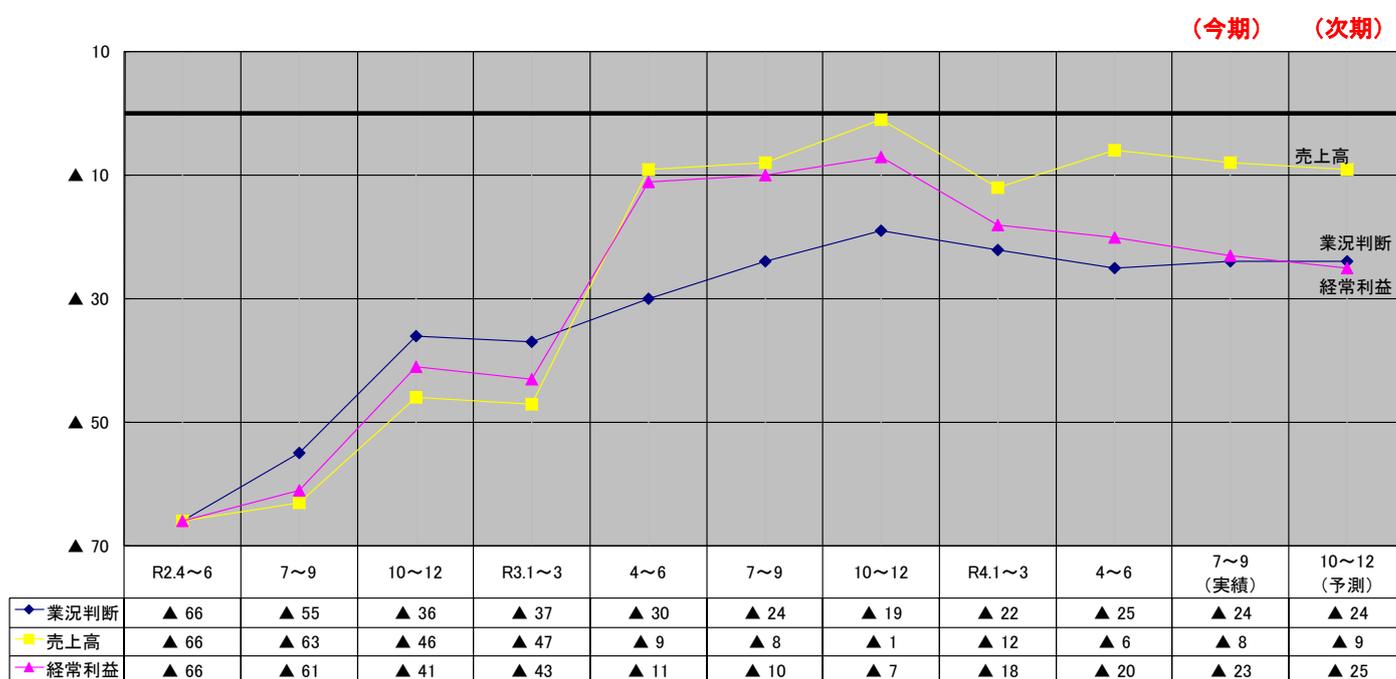
## 主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向

### <今期実績> (7-9 月期)

・「経常利益」は3期連続悪化

### <次期予測> (10-12 月期)

・次期は主要3項目すべて今期と同水準を予測



	6月調査時の 7~9 月期予測	7~9 月期実績
業況判断	▲ 26	▲ 24
売上高	▲ 8	▲ 8
経常利益	▲ 21	▲ 23

# — 業 種 別 —

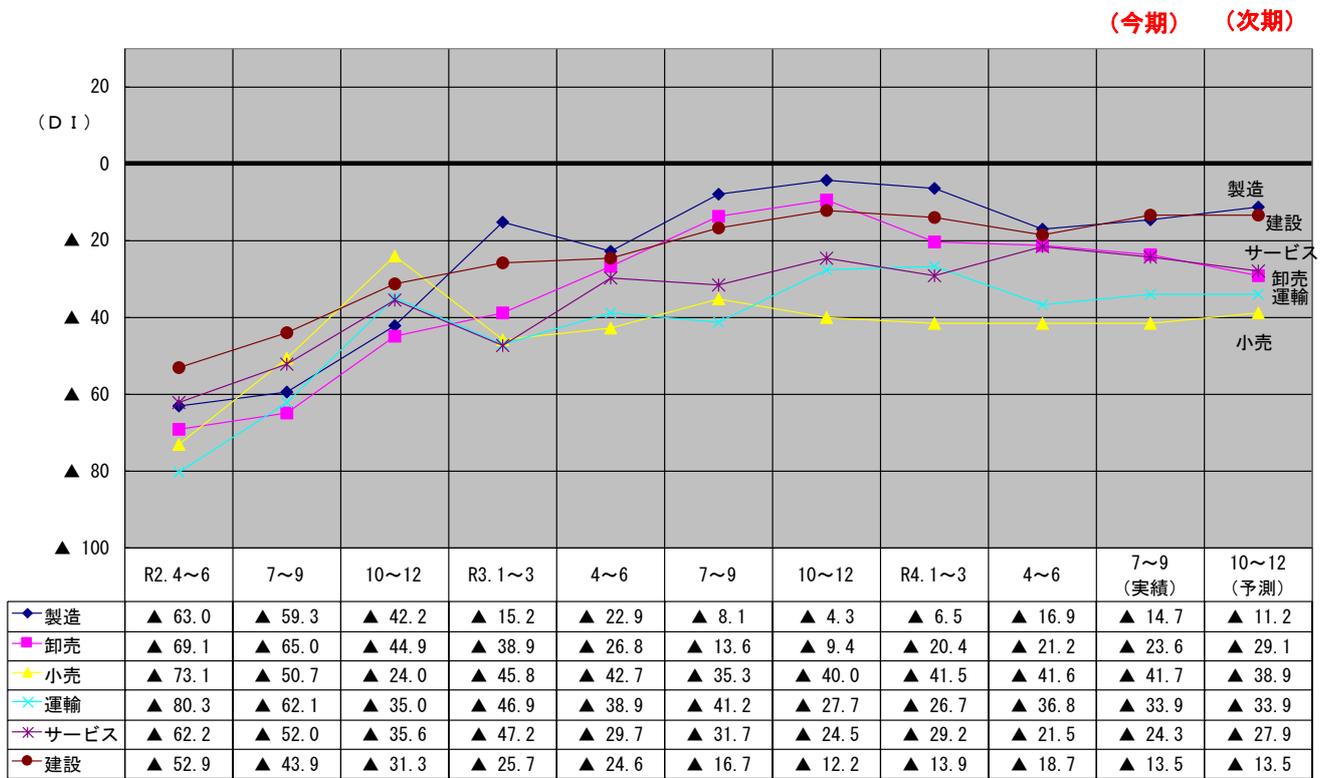
## 業況判断DI

＜今期実績＞（7～9 月期）

・製造業・運輸業・建設業は改善

＜次期予測＞（10～12 月期）

・製造業と小売業が改善を予測



	6 月調査時の 7～9 月期予測	7～9 月期実績
製造	▲21.0	▲14.7
卸売	▲38.5	▲23.6
小売	▲33.8	▲41.7
運輸	▲31.6	▲33.9
サービス	▲22.2	▲24.3
建設	▲21.3	▲13.5

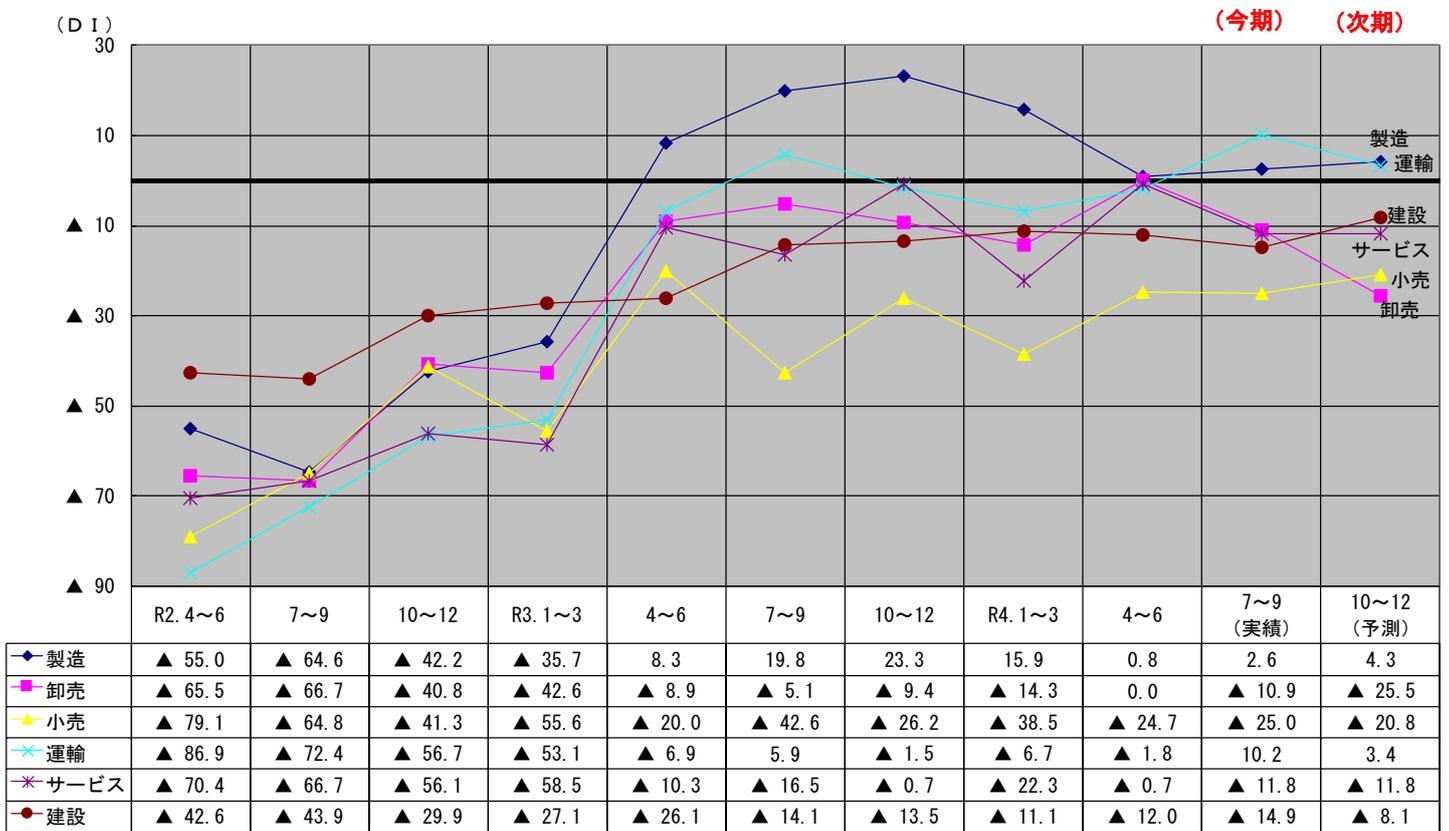
# 売上高DI

## <今期実績> (7-9 月期)

- ・製造業と運輸業は改善し、プラス水準
- ・卸売業とサービス業は 10 ポイント以上悪化

## <次期予測> (10-12 月期)

- ・製造業と小売業、建設業は改善を予測
- ・卸売業は 14.6 ポイント悪化を予測



	6 月調査時の 7~9 月期予測	7~9 月期実績
製造	▲0.8	2.6
卸売	▲7.7	▲10.9
小売	▲23.4	▲25.0
運輸	5.3	10.2
サービス	▲5.2	▲11.8
建設	▲18.7	▲14.9

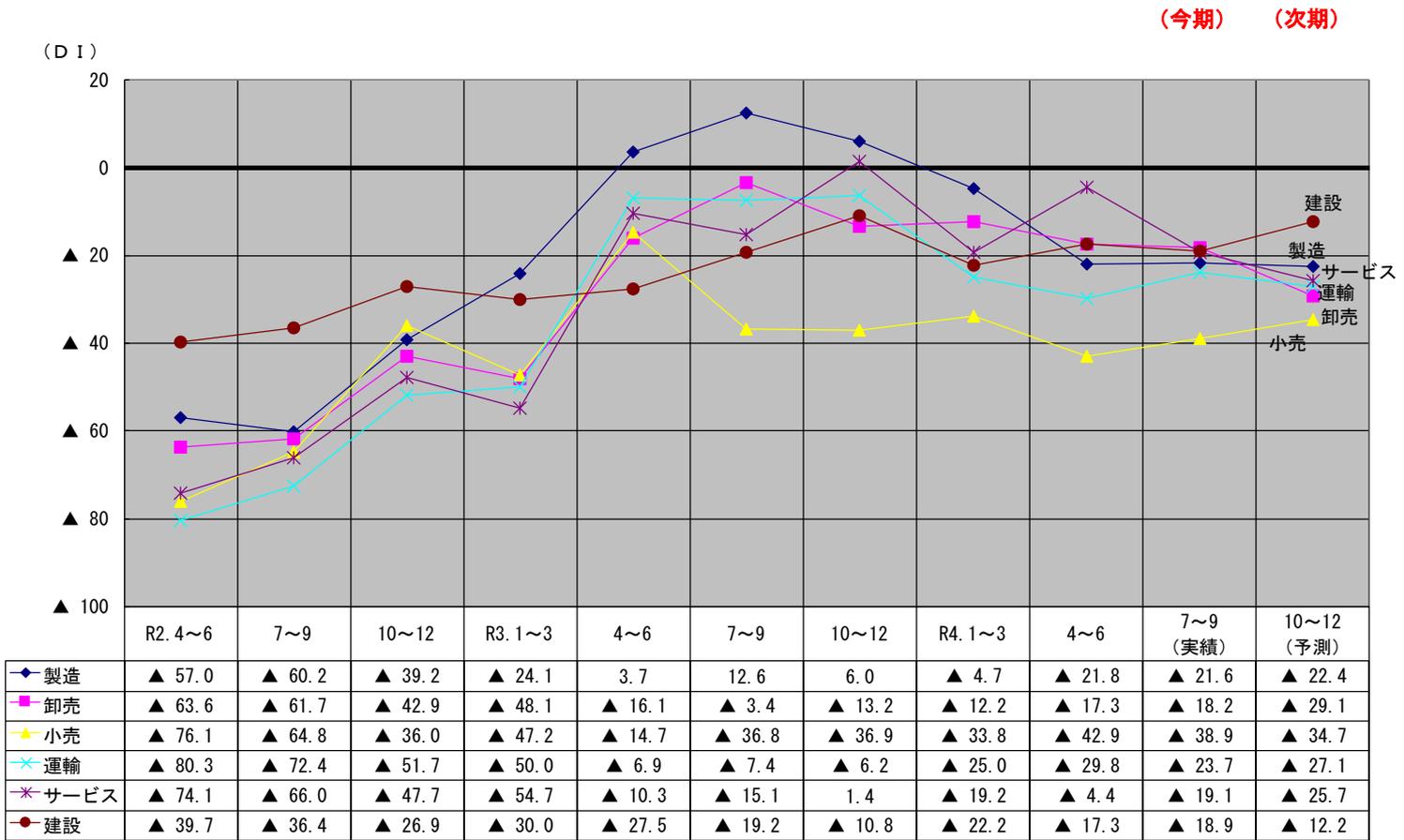
## 経常利益DI

### <今期実績> (7-9月期)

- ・小売業と運輸業は改善
- ・サービス業は 14.7 ポイント悪化

### <次期予測> (10-12月期)

- ・小売業と建設業は改善を予測
- ・卸売業は 10.9 ポイント悪化を予測



	6月調査時の 7~9月期予測	7~9月期実績
製造	▲25.8	▲21.6
卸売	▲21.2	▲18.2
小売	▲35.1	▲38.9
運輸	▲17.5	▲23.7
サービス	▲9.6	▲19.1
建設	▲21.3	▲18.9

# — 規 模 別 —

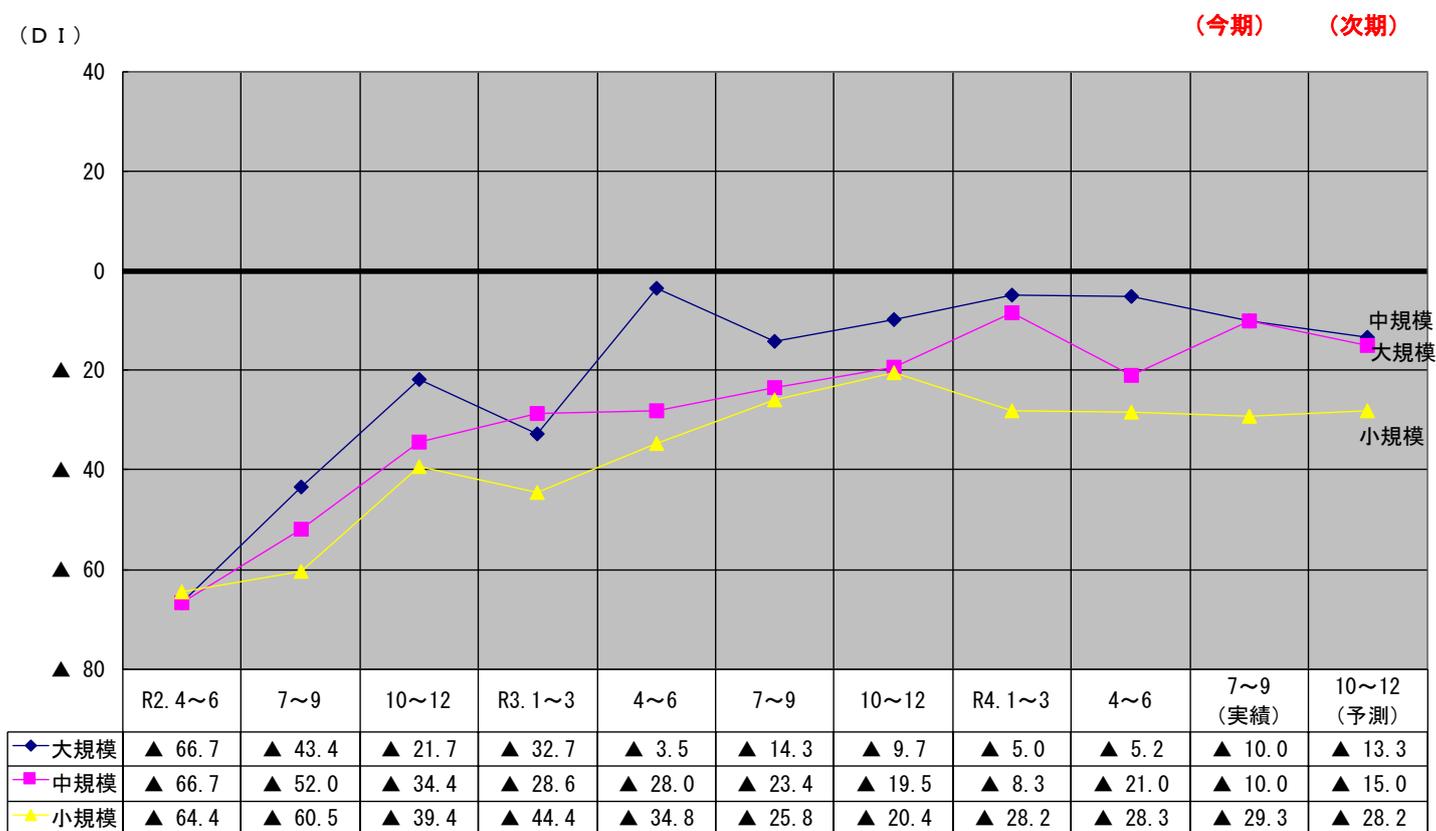
## 業況判断DI

＜今期実績＞（7～9 月期）

・大規模企業は悪化、中規模企業は 11 ポイント改善

＜次期予測＞（10～12 月期）

・小規模企業のみ改善を予測



	6 月調査時の 7~9 月期予測	7~9 月期実績
大規模	▲5.2	▲10.0
中規模	▲18.5	▲10.0
小規模	▲31.0	▲29.3

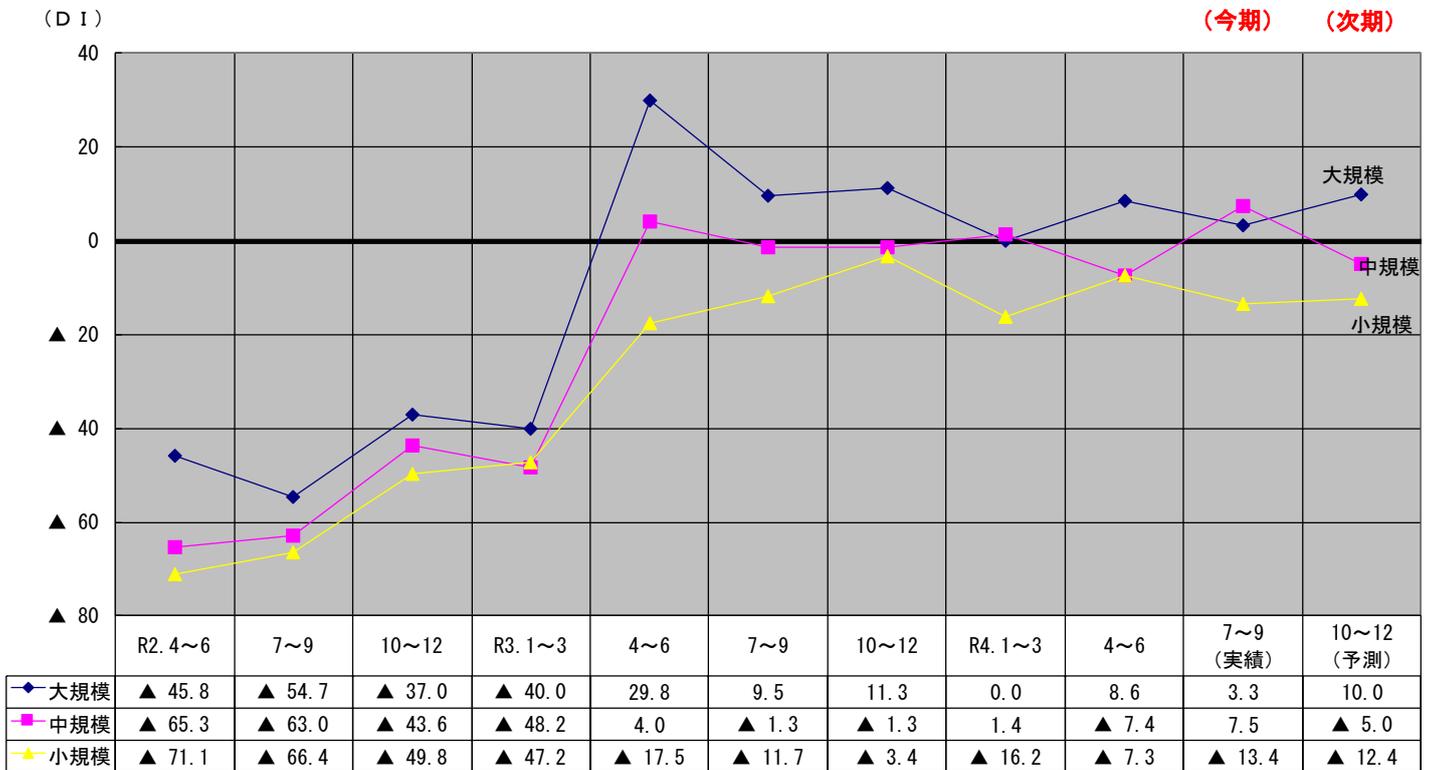
## 売上高DI

### <今期実績> (7-9 月期)

- ・大規模企業と小規模企業は悪化
- ・中規模企業は 14.9 ポイント改善し、プラス水準になる

### <次期予測> (10-12 月期)

- ・大規模企業と小規模企業は改善を予測
- ・中規模企業は 12.5 ポイント悪化を予測



	6月調査時の 7~9月期予測	7~9月期実績
大規模	24.1	3.3
中規模	▲9.9	7.5
小規模	▲12.3	▲13.4

# 経常利益DI

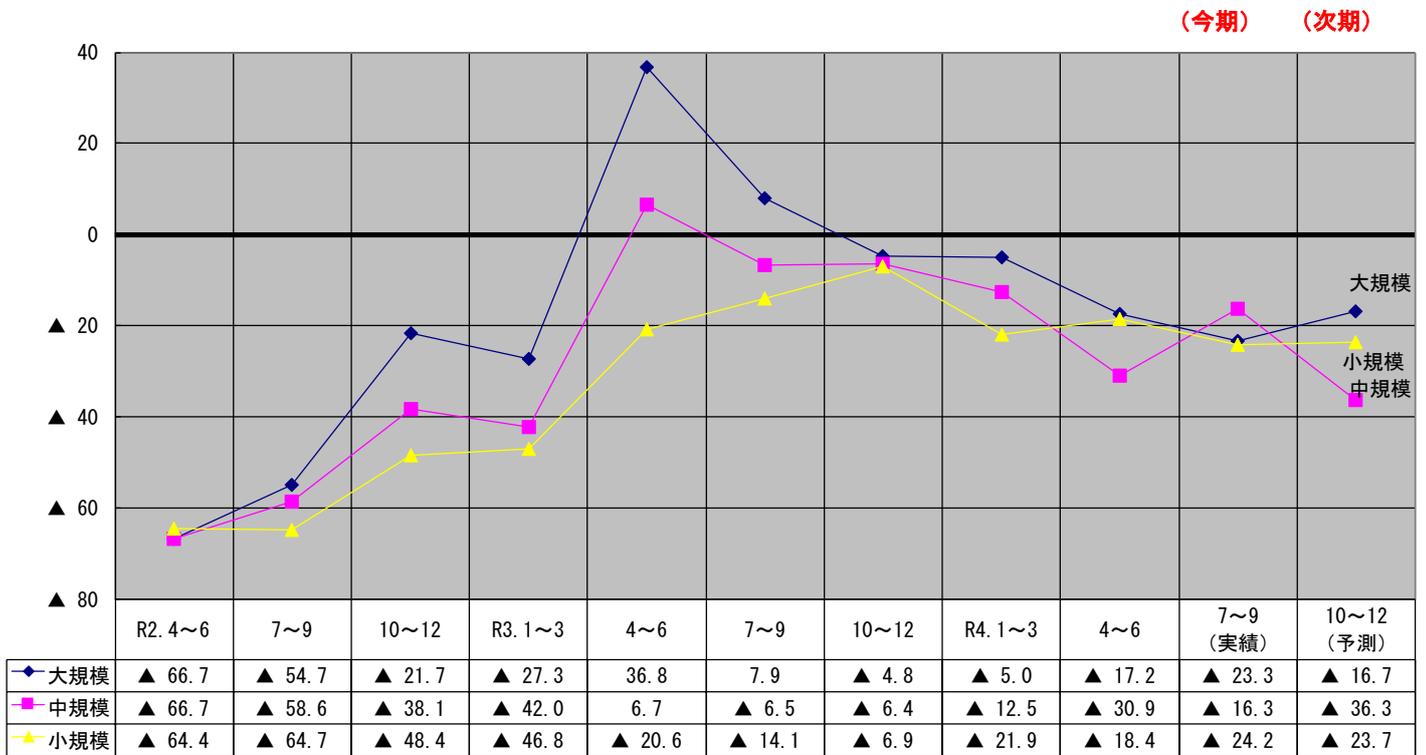
## <今期実績> (7-9 月期)

・大規模企業と小規模企業は悪化、中規模企業は 14.6 ポイント改善

## <次期予測> (10-12 月期)

・大規模企業は改善、小規模企業は横ばいを予測  
 ・中規模企業は 20 ポイント悪化を予測

(DI)



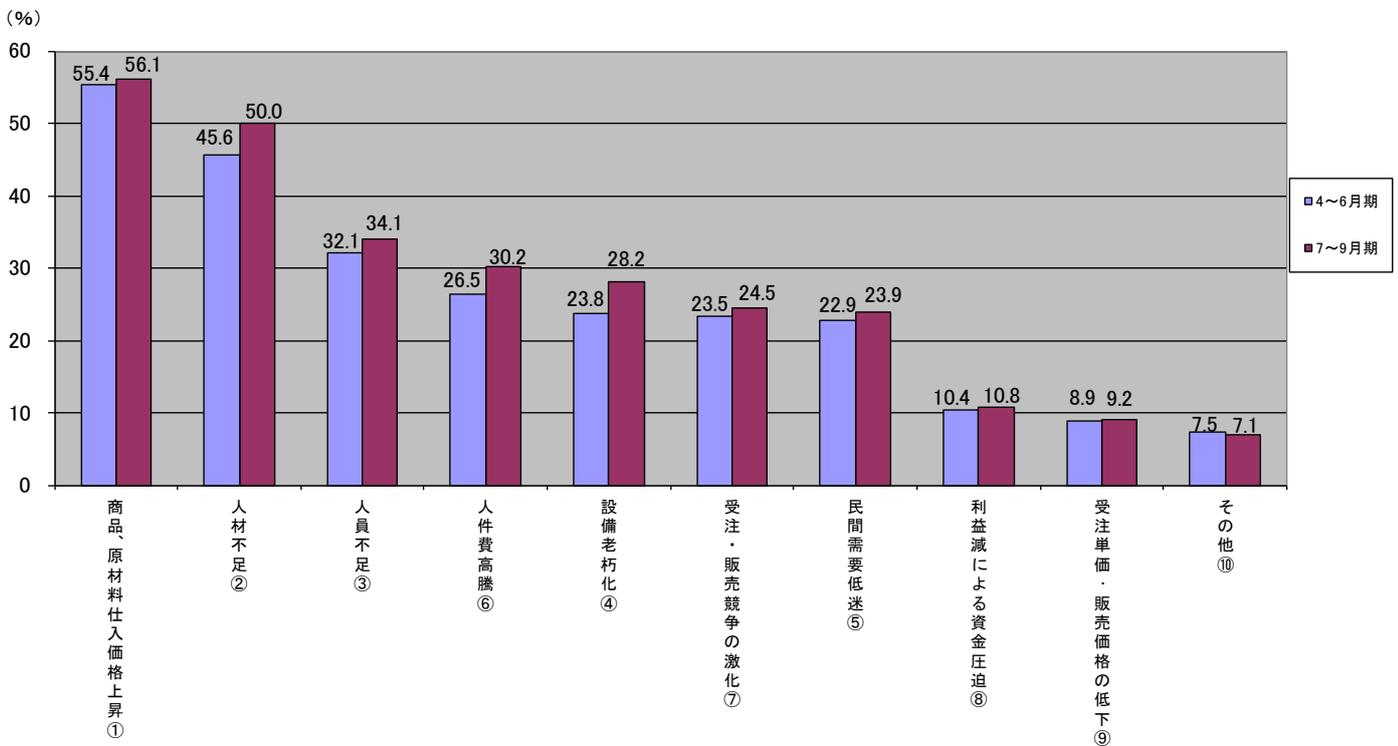
	6月調査時の 7~9月期予測	7~9月期実績
大規模	0.0	▲23.3
中規模	▲30.9	▲16.3
小規模	▲22.0	▲24.2

## その他項目 DI の動向

	R3年				R4年			
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9 (実績)	10~12 (予測)
①販売価格・ 受注単価 (「増加」-「減少」)	▲14.0	▲6.1	▲1.9	7.5	6.7	13.5	15.9	17.8
②資金繰り (「容易」-「困難」)	▲0.7	0.2	3.7	6.3	5.2	7.8	5.6	3.3
③設備投資 (「増加」-「減少」)	▲18.4	▲16.4	▲12.4	▲3.6	▲13.1	▲0.6	▲2.0	▲5.1
④雇 用 (「過剰」-「不足」)	▲23.3	▲24.3	▲28.6	▲35.7	▲37.8	▲36.3	▲39.4	▲39.7

- ① 「販売価格・受注単価」……前期から上昇。次期もさらに上昇を予測
- ② 「資金繰り」……前期から悪化。次期はさらに悪化を予測
- ③ 「設備投資」……前期から悪化。次期もさらに悪化を予測
- ④ 「雇用」……前期から悪化。次期は横ばいを予測

## 経営上の問題点上位10項目(複数回答)



※項目の後の数字は前回調査結果の順位

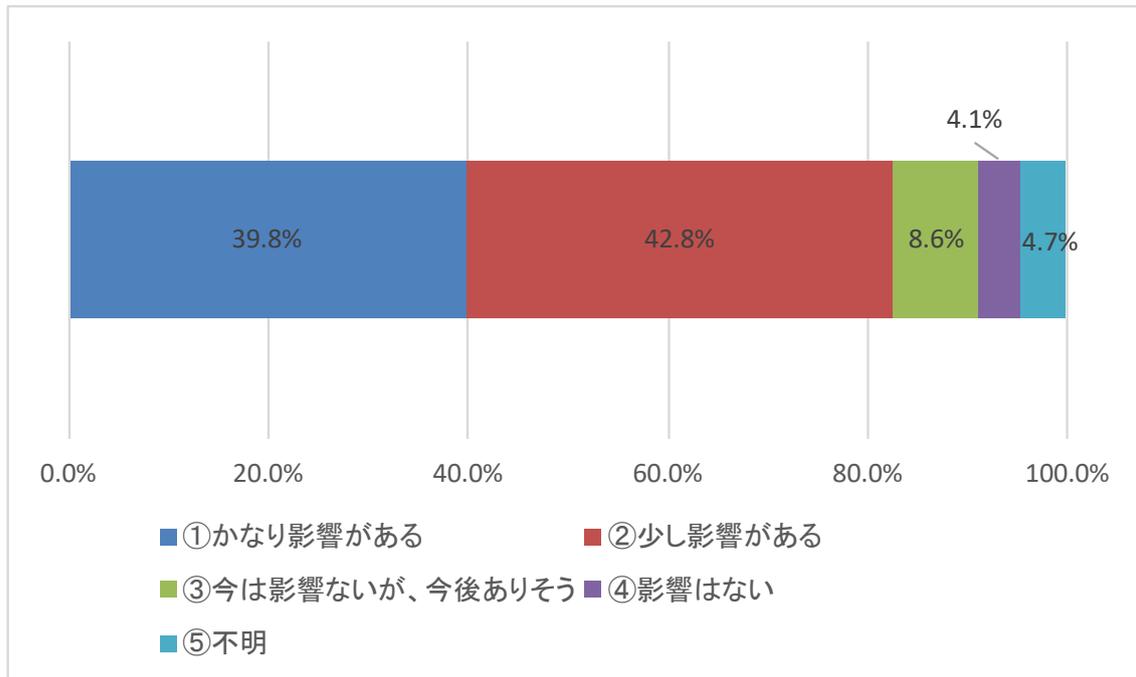
## 企業の声

- 需要が伸び悩んでいる中、エネルギーコストの急騰が収益を圧迫しており、先行きも不透明な状況にある  
【製造業(窯業・土石)・大規模】
- 一部の原料、資材に関し調達が難しくなっていることに加え、多くの素材で10~20%の値上がりが複数回実施されている  
【製造業(化学)・中規模】
- 円安の影響で仕入れ価格が20%~30%程度値上がりしている  
【製造業(建材・木・紙製品)・小規模】
- 仕入価格は前年の約1.5倍と上昇傾向が続いている  
【卸売業(その他の卸売)・小規模】
- 新型コロナ第7波で感染者や濃厚接触者が増え、以前よりも厳しい。仕入れ価格も上がって、やむを得ず価格転嫁した  
【小売業(飲食料品)・小規模】
- コスト上昇分を価格転嫁したいが競合他社が価格を据え置いているので厳しい  
【運輸業(倉庫業)・小規模】
- 売上増加に伴い、燃料費が上昇しているものの価格転嫁できている  
【運輸業(海運業)・小規模】
- 2年連続の最低賃金大幅アップに伴い、受注単価とのアンバランスが広がる。併せて求人単価と現在の社員単価との調整が必要  
【サービス業(その他のサービス)・大規模】
- コロナ禍において顧客の来店減少が響いている  
【サービス業(その他のサービス)・小規模】
- 資材の高騰、円安、石油製品高騰、職人不足(労務費上昇)があっている。仕入価格は確実に上がっており、販売価格への転嫁が悩ましい  
【建設業(総合建設)・小規模】

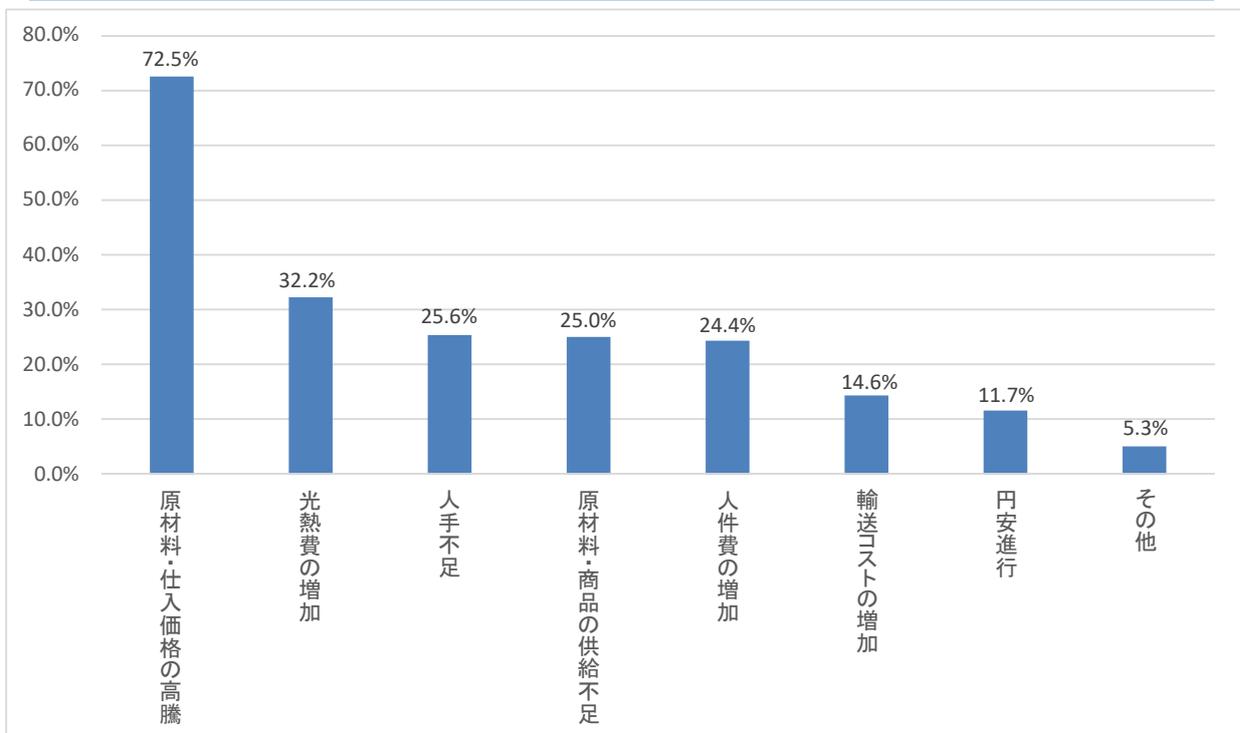
## 付帯調査

### コスト上昇(原油価格・原材料価格の高騰など)の影響調査

(1) 原油価格や原材料価格の高騰などコスト上昇による収益への影響はいかがですか。



(2) 昨年と比較して、収益に大きく影響をおよぼしている要因は何ですか。【大きな要因 3 つまで】



<その他の回答>

- ・ベテラン社員の退職や作業員の入れ替わりなどにより従業員が育たない
- ・売上の減少
- ・新型コロナウイルス感染症拡大による影響
- ・修繕費の高騰

(3)コスト上昇分を価格転嫁できていますか。

